

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会福祉援助技術現場実習（Fieldwork of Social Work）		
ナンバリングコード	E30908	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 社会福祉
単位数	4	配当学年 / 開講期	3 年 / 通年
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E021701	クラス名	2020以前学生用
担当教員名	林 孝和、鍋田 耕作、河村 裕次、古野 愛子、田中 秀和		
履修上の注意、履修条件	「社会福祉援助技術演習Ⅱ」・「社会福祉援助技術現場実習指導」・「社会福祉援助技術現場実習」の3科目を必ず同時に履修することが条件となります。 実習計画書を綿密に作成し、有意義な実習とするよう心がける必要があります。将来の社会福祉の担い手としての期待に応えられるよう、真剣に取り組んでください。		
教科書	監修：日本福祉大学社会福祉実習教育センター 「ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習」中央法規出版 2015年3月		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	相談援助の基盤と専門職，相談援助の理論と方法，高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，公的扶助論，社会福祉援助技術現場実習指導，社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ		

○基本情報		
授業の目的	社会福祉援助技術現場実習では，利用者の理解とその家族への支援方法，施設・機関の機能と役割，職種と職務内容，援助の具体的方法，関連機関との連携，地域社会との関わりなどを学びます。そして，現場実習の達成課題の結びとして，福祉専門職者としての自らの適性を問う意味もあります。	
授業の概要	社会福祉援助技術現場実習では，既に講義で学んだ社会福祉の知識，理論，技術を基に，社会福祉施設の実際を学びます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	積極的に利用者や職員とコミュニケーションを図ることができる。			20点
【知識・理解】	社会福祉援助技術現場実習を通して，相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解している。		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	社会福祉士として求められる資質，技能，倫理，自己に求められる課題把握等，総合的に対応することができる。		15点	15点
【思考・判断・創造】	実習中の体験や援助活動を，専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。			25点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
実習態度及び実習評価票をもとに総合的に判断します。(無形成果：発表) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 実習日誌等をもとに総合的に判断します。(提出物：レポート) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

○その他
8月～9月にかけて、実習指導者の指導のもとで、180時間(概ね23日間)以上の実習を行う。実習期間中は、担当教員が巡回指導等を行い、実習課題に応じて指導します。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	社会福祉援助技術現場実習（Fieldwork of Social Work）	授業コード	E021701
	担当教員	林 孝和、鍋田 耕作、河村 裕次、古野 愛子、田中 秀和		
学修内容				
1. 施設実習:概ね5日間程度を想定 概ね1日8時間の実習を実施				
予習				約1時間
実習に必要な価値・知識・技術の復習、補習を行う。実習計画の進捗状況を確認し、「本日の実習課題」を設定				
復習				約1時間
実習日誌の作成により、実習内容を振り返り、考察を行い、課題を整理する。実習指導者よりスーパービジョン				
2. 職種実習:概ね5日間程度を想定 概ね1日8時間の実習を実施				
予習				約1時間
実習に必要な価値・知識・技術の復習、補習を行う。実習計画の進捗状況を確認し、「本日の実習課題」を設定				
復習				約1時間
実習日誌の作成により、実習内容を振り返り、考察を行い、課題を整理する。実習指導者よりスーパービジョン				
3. ソーシャルワーク実習:概ね13日間程度を想定 概ね1日8時間の実習を実施				
予習				約1時間
実習に必要な価値・知識・技術の復習、補習を行う。実習計画の進捗状況を確認し、「本日の実習課題」を設定				
復習				約1時間
実習日誌の作成により、実習内容を振り返り、考察を行い、課題を整理する。実習指導者よりスーパービジョン				
4.				
予習				約2時間
復習				約2時間
5.				
予習				約2時間
復習				約2時間
6.				
予習				約2時間
復習				約2時間
7.				
予習				約2時間
復習				約2時間
8.				
予習				約2時間
復習				約2時間

○授業計画	科 目 名	社会福祉援助技術現場実習（Fieldwork of Social Work）	授業コード	E021701
	担当教員	林 孝和、鍋田 耕作、河村 裕次、古野 愛子、田中 秀和		
学修内容				
9.				
予習				約2時間
復習				約2時間
10.				
予習				約2時間
復習				約2時間
11.				
予習				約2時間
復習				約2時間
12.				
予習				約2時間
復習				約2時間
13.				
予習				約2時間
復習				約2時間
14.				
予習				約2時間
復習				約2時間
15.				
予習				約2時間
復習				約2時間
16.				
予習				約2時間
復習				約2時間